



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 株式会社チノ一 上場取引所 東  
 コード番号 6850 URL <https://www.chino.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 豊田三喜男  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 大森一正 TEL 03-3956-2115  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,159	△3.1	△116	—	△72	—	365	—
2020年3月期第1四半期	4,293	△9.2	△7	—	17	△91.0	△3	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 411百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △198百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	43.11	—
2020年3月期第1四半期	△0.36	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	28,955	18,160	53.3	1,821.29
2020年3月期	26,708	16,318	57.6	1,815.33

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 15,427百万円 2020年3月期 15,377百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期期末の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症が経営成績に及ぼす影響を合理的に算定することが困難なため、引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 9 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	9,260,116株	2020年3月期	9,260,116株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	789,291株	2020年3月期	789,236株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	8,470,849株	2020年3月期1Q	8,471,700株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症が経営成績に及ぼす影響を合理的に算定することが困難なため、引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、保護主義的な経済政策による米中貿易摩擦が継続する中で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が停滞し厳しい状況となりました。わが国経済においても、4月の緊急事態宣言に伴い社会経済活動が制限され、海外経済の悪化と相まって内外需要がともに大きく落ち込み、同宣言解除後も先行きは極めて不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループを取り巻く事業環境は、主要顧客である電子部品関連及び自動車関連の設備投資において慎重な姿勢が一段と強まる一方、体表面温度発熱監視カメラや体表面温度チェッカなど新型コロナウイルス感染症対策関連の製品に対する需要が高まり、その供給増に向けて増産体制の強化に努めました。

海外事業に関しましては、各国の経済活動の停滞に加えて、政府の要請に基づき、中国の子会社(12月決算会社)が2月に稼働停止(その後は通常稼働に回復)したことを初めとして、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けています。

当社グループの売上高は例年、年間を通して第1四半期が最も少なく、第4四半期に向けて増加する傾向にあります。当面の受注確保に努めることに加え、今後の経済状況の回復に合わせて、5Gや車の自動運転等で成長が見込まれる半導体電子部品産業やSDGsで目標とされている社会問題解決に対する取り組み等、当社グループの事業拡大に注力してまいります。

当第1四半期連結累計期間の受注高は、4,703百万円(前年同四半期比0.4%減)となり、売上高は4,159百万円(前年同四半期比3.1%減)となりました。利益面につきましては、営業損失116百万円(前年同四半期は営業損失7百万円)、経常損失72百万円(前年同四半期は経常利益17百万円)、明陽電機株式会社の連結子会社化に伴い特別利益として負ののれん発生益557百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益365百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### ①計測制御機器

売上高は1,506百万円(前年同四半期比16.3%減)、セグメント利益(営業利益)は128百万円(前年同四半期比52.3%減)となりました。主力製品である記録計、調節計、サイリスタレギュレータがいずれも、主要顧客の設備投資が軟調に推移したため、当セグメント全体の売上高、利益は前年同期比減少となりました。体表面温度チェッカ等を含む民生用製品については、新型コロナウイルス対策の需要増の対応に努めており堅調です。

#### ②計装システム

売上高は1,003百万円(前年同四半期比25.5%減)、セグメント損失(営業損失)は51百万円(前年同四半期は営業損失36百万円)となりました。電子部品関連の製造装置向けは前年度からの需要減が継続しており、自動車関連では新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、燃料電池試験装置の需要が先送りとなる案件が発生しています。エアコンのコンプレッサ評価試験装置についても同様に自動車関連の売上が減少しました。一方で、データの電子記録化が進んでいる医薬品等の温湿度管理システムについては需要が拡大しています。

#### ③センサ

売上高は1,472百万円(前年同四半期比57.3%増)、セグメント利益(営業利益)は169百万円(前年同四半期比40.6%増)となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、放射温度計や温度センサは、鉄鋼や熱処理関連の需要は厳しい状況にありますが、体表面温度発熱監視カメラの需要増に対する受注確保に向け取り組んでいます。

また、当セグメントには、当第1四半期連結会計期間より連結子会社化した明陽電機株式会社の売上・利益を含んでいます。同社の舶用で培われた高耐震の技術や高信頼性を活かして、ICT化が進む舶用市場や陸上での高度な産業分野への拡販を図っております。

#### ④その他

修理・サービス等の売上高は177百万円(前年同四半期比15.6%減)で、セグメント利益(営業利益)は25百万円(前年同四半期比284.5%増)となりました。

(参考) セグメント別の受注実績及び売上実績ならびに営業利益実績

受注実績 (セグメント別)

(単位: 千円)

セグメントの名称	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測制御機器	1,711,260	1,426,723	△284,536	△16.6
計装システム	1,647,533	1,421,915	△225,618	△13.7
センサ	1,185,117	1,667,618	482,500	40.7
その他	179,416	186,900	7,483	4.2
合計	4,723,327	4,703,157	△20,169	△0.4

売上実績 (セグメント別)

(単位: 千円)

セグメントの名称	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測制御機器	1,800,347	1,506,323	△294,024	△16.3
計装システム	1,347,671	1,003,854	△343,817	△25.5
センサ	935,973	1,472,136	536,163	57.3
その他	209,750	177,063	△32,687	△15.6
合計	4,293,743	4,159,378	△134,365	△3.1

売上実績 (地域別)

(単位: 千円)

セグメントの名称	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
日本	3,238,659	3,566,798	328,139	10.1
アジア	916,815	514,133	△402,682	△43.9
北米	89,165	52,217	△36,948	△41.4
欧州	34,652	23,503	△11,149	△32.2
その他	14,452	2,726	△11,726	△81.1
合計	4,293,743	4,159,378	△134,365	△3.1

営業利益実績 (セグメント別)

(単位: 千円)

セグメントの名称	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測制御機器	269,876	128,853	△141,023	△52.3
計装システム	△36,474	△51,417	△14,943	—
センサ	120,570	169,473	48,903	40.6
その他	6,742	25,924	19,182	284.5
全社費用(注)	△368,328	△389,476	△21,147	—
合計	△7,613	△116,643	△109,029	—

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期期末は、明陽電機株式会社の子会社化を主因として資産、負債、純資産が増加しました。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,246百万円増加し、28,955百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,113百万円増加し、19,535百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加1,887百万円、たな卸資産の増加1,225百万円、売掛債権の減少952百万円等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ133百万円増加し、9,420百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて405百万円増加し、10,794百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ390百万円増加し、7,453百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ14百万円増加し、3,340百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,841百万円増加し、18,160百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症が経営成績に及ぼす影響を合理的に算定することが困難なため、引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,650,885	6,538,662
受取手形及び売掛金	5,783,762	4,349,239
電子記録債権	1,544,056	2,026,198
有価証券	150,000	—
商品及び製品	712,932	894,410
仕掛品	2,002,352	2,442,771
原材料及び貯蔵品	2,277,153	2,880,284
その他	305,546	406,446
貸倒引当金	△4,759	△2,909
流動資産合計	17,421,931	19,535,104
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,476,258	3,187,078
その他	2,281,264	2,535,783
有形固定資産合計	4,757,522	5,722,862
無形固定資産		
その他	327,934	318,679
無形固定資産合計	327,934	318,679
投資その他の資産		
その他	4,249,164	3,426,774
貸倒引当金	△48,258	△48,258
投資その他の資産合計	4,200,905	3,378,515
固定資産合計	9,286,362	9,420,057
資産合計	26,708,293	28,955,161

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,027,398	1,800,991
電子記録債務	1,822,960	1,878,675
短期借入金	1,194,200	1,353,880
1年内返済予定の長期借入金	380,476	344,996
未払法人税等	125,024	124,950
賞与引当金	531,244	269,196
設備関係電子記録債務	121,248	9,862
その他	860,506	1,671,178
流動負債合計	7,063,059	7,453,731
固定負債		
長期借入金	1,260,009	1,206,608
退職給付に係る負債	1,354,989	1,368,947
役員退職慰労引当金	397,837	419,744
その他	313,402	345,551
固定負債合計	3,326,238	3,340,851
負債合計	10,389,297	10,794,582
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,292,027	4,292,027
資本剰余金	4,053,230	4,053,230
利益剰余金	8,312,042	8,296,046
自己株式	△1,156,560	△1,156,630
株主資本合計	15,500,739	15,484,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,445	212,246
為替換算調整勘定	△23,174	△75,488
退職給付に係る調整累計額	△201,547	△193,615
その他の包括利益累計額合計	△123,276	△56,858
非支配株主持分	941,533	2,732,763
純資産合計	16,318,996	18,160,578
負債純資産合計	26,708,293	28,955,161



（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
売上高	4,293,743	4,159,378
売上原価	3,034,283	3,015,213
売上総利益	1,259,459	1,144,164
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	486,997	517,548
賞与引当金繰入額	61,321	83,940
退職給付費用	30,298	32,351
役員退職慰労引当金繰入額	12,871	14,547
研究開発費	136,043	138,624
その他	539,541	473,795
販売費及び一般管理費合計	1,267,073	1,260,807
営業損失（△）	△7,613	△116,643
営業外収益		
受取利息	4,428	2,911
受取配当金	25,421	27,893
売電収入	13,448	12,733
その他	6,874	32,402
営業外収益合計	50,173	75,940
営業外費用		
支払利息	2,800	2,827
金融関係手数料	1,924	1,849
売電費用	4,791	4,225
為替差損	10,089	14,449
その他	5,880	8,347
営業外費用合計	25,486	31,700
経常利益又は経常損失（△）	17,072	△72,402
特別利益		
固定資産売却益	—	99
負ののれん発生益	—	557,005
特別利益合計	—	557,105
特別損失		
固定資産処分損	735	2,712
段階取得に係る差損	—	1,030
特別損失合計	735	3,743
税金等調整前四半期純利益	16,337	480,960
法人税等	12,912	92,020
四半期純利益	3,424	388,940
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,496	23,746
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△3,071	365,193

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,424	388,940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△104,372	110,582
為替換算調整勘定	△98,950	△95,509
退職給付に係る調整額	1,626	7,931
その他の包括利益合計	△201,696	23,004
四半期包括利益	△198,272	411,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△162,476	431,612
非支配株主に係る四半期包括利益	△35,795	△19,667

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であった明陽電機株式会社の株式を追加取得し連結子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、明陽電機株式会社を連結の範囲に含めたため、持分法適用関連会社から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,800,347	1,347,671	935,973	4,083,992	209,750	4,293,743
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,800,347	1,347,671	935,973	4,083,992	209,750	4,293,743
セグメント利益又は損失(△)	269,876	△36,474	120,570	353,972	6,742	360,714

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	353,972
「その他」の区分の利益	6,742
全社費用(注)	△368,328
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△7,613

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,506,323	1,003,854	1,472,136	3,982,314	177,063	4,159,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,506,323	1,003,854	1,472,136	3,982,314	177,063	4,159,378
セグメント利益又は損失(△)	128,853	△51,417	169,473	246,908	25,924	272,833

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	246,908
「その他」の区分の利益	25,924
全社費用(注)	△389,476
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△116,643

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「センサ」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に明陽電機株式会社の株式を追加取得し、持分法適用関連会社から連結子会社としたことにより、負ののれん発生益557,005千円を計上しております。また、株式の追加取得時において段階取得に係る差損1,030千円を合わせて計上しております。

なお、当該負ののれん発生益等は報告セグメントには配分しておりません。